

「令和7年度「夜の横浜イルミネーション」及び「ヨルノヨ」における広報及び回遊促進等業務委託」  
 提案書評価基準

1 評価方法

- (1) 各評価項目について、「3 評価の視点」に基づき A、B、C、D、E の5段階評価を行う。
- (2) 各評価項目の評価点は、配点を A=100%、B=75%、C=50%、D=25%、E=0%で換算した点数とする。  
 (例) 配点4の評価項目をC評価 : 評価点 : 4(配点)×0.5(評価)=2
- (3) 評価点が同点となった場合は、評価項目のうち「提案内容」の評価点の合計が高い者を受託候補者として特定する。「提案内容」の評価点の合計も同点となった場合は、当該者のみを対象に10点満点で総合評価を行い、得点の高い者を受託候補者として特定する。
- (4) 「提案内容」の各総合評価(【4-10】、【5-10】、【6-17】)において、出席委員のうち過半数の委員が「E」を採点した場合は、受託候補者としての特定は行わないものとする。

2 評価項目

本プロポーザルで評価する項目については以下のとおりです。

評価項目		配点
実施体制	人員配置及び組織体制	8
業務実績	過去の業務実績	6
企業取組	ワークライフバランス、障害者雇用、健康経営に関する取組	6
提案内容	(1) 広報業務	40
	(2) パブリシティ業務	40
	(3) 回遊促進等業務	100
合計		200

### 3 評価の視点

	項目	評価の視点	点数	配点
			良い > 普通 > 良くない	
実施体制				
【1-1】	人員体制	業務を遂行するのに十分な人員・組織体制または実績を有するスタッフの配置等が提案されているか	A・B・C・D・E	8
業務実績				
【2-1】	過去の業務実績	過去3年間に類似イベント等で「地域をつなぐ業務(ソフト)」に類似した業務の実績があるか	A・B・C・D・E	2
【2-2】		過去3年間に類似イベント等で「広報業務」の実績があるか	A・B・C・D・E	2
【2-3】		過去3年間に類似イベント等で「パブリシティ業務」の実績があるか	A・B・C・D・E	2
企業取組				
【3-1】	ワークライフバランス、障害者雇用、健康経営に関する取組	次の項目を満たしているか <input type="checkbox"/> 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員101人未満の場合のみ加算） <input type="checkbox"/> 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員101人未満の場合のみ加算） <input type="checkbox"/> 次世代育成支援対策推進法による認定（くるみんマーク、プラチナくるみんマーク）の取得、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定の取得、又は、よこはまグッドバランス賞の認定の取得 <input type="checkbox"/> 青少年の雇用の促進等に関する法律に基づくユースエール認定の取得 <input type="checkbox"/> 障害者雇用促進法に基づく法定雇用率2.5%の達成（従業員40.0人以上）、又は障害者を1名以上雇用している（従業員40.0人未満） <input type="checkbox"/> 健康経営銘柄、健康経営優良法人（大規模法人・中小規模法人）の取得、又は、横浜健康経営認証のAAAクラス若しくはAAクラスの認証	1つ満たすごとに1点を加算  ※共同提案の場合は、代表法人を評価の対象とする	6
提案内容				
(1) 広報業務				40
【4-1】	業務理解度	本委託の業務を進めるにあたって、業務内容を十分に理解し、全体としてまとまりのある計画となっているか	A・B・C・D・E	4
【4-2】	戦略性	「夜の横浜イルミネーション」期間と「ヨルノヨ」期間のそれぞれを分析して、戦略的に計画を提案されているか	A・B・C・D・E	4
【4-3】	効果性(夜の横浜イルミネ	「夜の横浜イルミネーション」期間の計画は効果的	A・B・C・D・E	4

	ーション期間)	か		
【4-4】	効果性（ヨルノヨ期間）	「ヨルノヨ」期間の計画は効果的か	A・B・C・D・E	4
【4-5】	ターゲットの分析	計画策定にあたり、ターゲットを分析しているか	A・B・C・D・E	4
【4-6】	手段の効果性	提案された手段はターゲットに向けて効果的か	A・B・C・D・E	4
【4-7】	インバウンド対策	インバウンド対策として提案された手段は効果的か	A・B・C・D・E	4
【4-8】	業務体制等	業務スケジュール、業務体制等は適切か	A・B・C・D・E	4
【4-9】	計画の実現性	提案された計画の実現性はあるか	A・B・C・D・E	4
【4-10】	総合評価	(1) 広報業務の総合評価	A・B・C・D・E	4
(2) パブリシティ業務				40
【5-1】	業務理解度	本委託の業務を進めるにあたって、業務内容を十分に理解し、全体としてまとまりのある計画となっているか	A・B・C・D・E	4
【5-2】	戦略性	「夜の横浜イルミネーション」期間と「ヨルノヨ」期間のそれぞれを分析して、戦略的に計画を提案されているか	A・B・C・D・E	4
【5-3】	効果性(夜の横浜イルミネーション期間)	「夜の横浜イルミネーション」期間の計画は効果的か	A・B・C・D・E	4
【5-4】	効果性（ヨルノヨ期間）	「ヨルノヨ」期間の計画は効果的か	A・B・C・D・E	4
【5-5】	ターゲットの分析	計画策定にあたり、ターゲットを分析しているか	A・B・C・D・E	4
【5-6】	手段の効果性	提案された手段はターゲットに向けて効果的か	A・B・C・D・E	4
【5-7】	インバウンド対策	インバウンド対策として提案された手段は効果的か	A・B・C・D・E	4
【5-8】	業務体制等	業務スケジュール、業務体制等は適切か	A・B・C・D・E	4
【5-9】	計画の実現性	提案された計画の実現性はあるか	A・B・C・D・E	4
【5-10】	総合評価	(2) パブリシティ業務の総合評価	A・B・C・D・E	4
(3) 回遊促進等業				100
【6-1】	業務理解度	本委託の業務を進めるにあたって、業務内容を十分に理解し、全体としてまとまりのある計画となっているか	A・B・C・D・E	4
【6-2】	戦略性	「冬の夜の横浜を街一体となって盛り上げる取組」及び、「回遊促進・滞在時間延長のための取組」（「夜の横浜イルミネーション」期間、「ヨルノヨ」期間）をそれぞれ分析した上で、戦略的な計画を提案しているか	A・B・C・D・E	4
【6-3】	業務体制等	業務スケジュール、業務体制等は適切か	A・B・C・D・E	4
①冬の夜の横浜を街一体となって盛り上げる取組の企画				
【6-4】	ターゲットの分析	計画策定にあたり、冬の夜の横浜を街一体となって盛り上げる取組におけるターゲットの分析をしているか	A・B・C・D・E	4
【6-5】	効果性	提案された「地域のイルミネーションが参画し、冬の夜の横浜を街一体で盛り上げるための取組の企画」 ・1,000人以上が参加できる取組を1種類以上	A・B・C・D・E	6

		・20人以上が参加できる取組を1種類以上 は、目的に対して効果的か		
【6-6】	実現性	提案された「地域のイルミネーションが参画し、冬の夜の横浜を街一体で盛り上げるための取組の企画」  ・1,000人以上が参加できる取組を1種類以上 ・20人以上が参加できる取組を1種類以上 は、実現性があるか	A・B・C・D・E	6
②回遊促進・滞在時間延長のための取組の企画 ア 「夜の横浜イルミネーション」期間				
【6-7】	ターゲットの分析	計画策定にあたり、回遊促進・滞在時間延長を図るための取組におけるターゲットの分析をしているか	A・B・C・D・E	4
【6-8】	効果性	提案された「地域のイルミネーション（ヨルノヨを含む）の回遊促進や滞在時間延長を図り、2回以上の再来訪を促す取組（毎月取組内容を変更することも可）かつ、横浜の街に対する満足度向上につながる取組や連携の企画」  ・1,000人以上が参加できる取組を1種類以上 ・20人以上が参加できる取組を1種類以上 は、ターゲットに対して効果的か	A・B・C・D・E	6
【6-9】	実現性	提案された「地域のイルミネーション（ヨルノヨを含む）の回遊促進や滞在時間延長を図り、2回以上の再来訪を促す取組（毎月取組内容を変更することも可）かつ、横浜の街に対する満足度向上につながる取組や連携の企画」  ・1,000人以上が参加できる取組を1種類以上 ・20人以上が参加できる取組を1種類以上 は、実現性があるか	A・B・C・D・E	6
②回遊促進・滞在時間延長のための取組の企画 イ 「ヨルノヨ」期間				
【6-10】	ターゲットの分析	計画策定にあたり、回遊促進・滞在時間延長を図るための取組におけるターゲットを分析しているか	A・B・C・D・E	4
【6-11】	効果性（横浜の街に対する満足度向上）	提案された「期間中における横浜都心臨海部の回遊促進や滞在時間延長を図り、横浜の街に対する満足度向上につながる取組や連携の企画」  ・1,000人以上が参加できる取組を1種類以上 ・20人以上が参加できる取組を1種類以上 は、ターゲットに対して効果的か	A・B・C・D・E	6
【6-12】	実現性（横浜の街に対する満足度向上）	提案された「期間中における横浜都心臨海部の回遊促進や滞在時間延長を図り、横浜の街に対する満足度向上につながる取組や連携の企画」  ・1,000人以上が参加できる取組を1種類以上 ・20人以上が参加できる取組を1種類以上 は、実現性があるか	A・B・C・D・E	6

【6-13】	効果性（ホテルの宿泊者のみの体験）	提案された「ホテルの宿泊者のみが体験できるような企画（1種類以上）」は、ターゲットに対して効果的か	A・B・C・D・E	6
【6-14】	実現性（ホテルの宿泊者のみの体験）	提案された「ホテルの宿泊者のみが体験できるような企画（1種類以上）」は、実現性があるか	A・B・C・D・E	6
【6-15】	効果性（朝活）	提案された「滞在時間延長になるような朝活の企画（1種類以上）」は、ターゲットに対して効果的か	A・B・C・D・E	6
【6-16】	実現性（朝活）	提案された「滞在時間延長になるような朝活の企画（1種類以上）」は、実現性があるか	A・B・C・D・E	6
総合評価				
【6-17】	総合評価	（3）回遊促進等業務の総合評価	A・B・C・D・E	16